

HSK

なんれん

とからち

NO.29

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

H S K 通巻第327号

1999年6月10日発行

毎月10発行(1部100円)

(会費・協力会費に含まれています)

編集 財団法人北海道難病連

十勝支部

発行 北海道身体障害者団体

定期刊行物協会



も く じ

- 新支部長の挨拶・・・P 1
- 十勝支部の活動報告・・・P 2～3
- 決算報告と会計予算・・・P 4～7
- 新役員名簿・・・P 8
- 道難病連定期総会報告・・・P 9～11
- お知らせコーナー・・・P 12～14



●ランナー渾本面の絵はがき
8枚組 1セット500円



●ランナーTシャツ 1,500円



●応援ジャンパー 3,000円



●参加者用セクセン
500円



●がんばれ携帯電話用ストラップ
800円

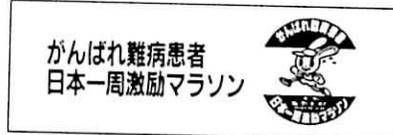
●がんばれピンバッジ
300円



●車用ステッカー200円



●応援フラッグ(手ぬぐい) 500円



●がんばれマグネットクリップ 500円

支部長 山崎 富士夫

この度、難病連十勝支部の支部長に就任しました。山崎富士夫です。昨年度までは事務局長をしていました。所属部会は、小鳩会です。小鳩会はダウン症候群の子供を持つ親の会です。いろいろな経緯があって、ダウン症は、病気ではないのですが、難病患者と家族の会に所属しています。従って、私自身は、患者本人ではないので、支部長をお引き受けすることは、遠慮しなければならないのかも知れませんが、今年度、たまたま、役員の中で、年齢が高いため、勧められてお引受けすることにいたしました。どうぞ、前支部長の江口様のような、力強いリーダーシップはとれませんが、役員みんな、よく相談しながら連合組織としての役割を果たして行きたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

なんれん十勝は、今、大きな転機にあります。その一つは、福祉機器販売の事務所の規模が縮小されました。従来、職員2名体制で福祉機器の販売と貸出し等の営業をしてきました。これは、難病連本部の事業としての活動でした。介護機器のリースなどが行われる時代を迎えて、規模を縮小することになったものです。今後は、1名体制で比較的小さい物の販売やリースをしていくことになりました。

従来どおり、相談事業やなんれん十勝の事務所としての役割は継続していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

二つ目は、難病患者のための共同作業所の設立についてですが、2000年度開設にむけて準備をはじめます。なんれんの共同作業所は道内ですでに設立されているのは、旭川支部と釧路支部です。十勝支部は、どのような内容になるか設立委員会で検討していきますが、各部会の皆さんからの、ご意見や要望・アイデアをお寄せ下さい。

また、現在は部会は10部会ですが、新しく部会をつくる動きがあれば、段取りについて支援して行きたいと思っています。

今回の機関紙で、今年度の活動計画の概要を載せましたが、各部会から役員のが出て下さっていますが、大きな行事の時は、部会からの人的支援をお願いしたいと思っています。どうぞ、なんれん十勝を「なんとかする」ために役員一同努力しますのでよろしくご支援をお願いします。簡単ですが、就任の挨拶に代えさせていただきます。

平成11年5月17日

1998年度 十勝支部活動報告 於：総会

1999・4・10

月	日	行 事	会 場 他	参 加	備 考
4	26	十勝地区肝臓癌検診	総合福祉センタ	200名	
5	27	第1回役員会（総会）	支部事務所	13名	
6	10	なんれん十勝26号編集			
6	10	花火販売取組み	各部会に呼び掛		7月末まで
7	1	全道集会協賛広告取組	事務局・部会		6月末まで
7	22	第2回支部役員会（以下、毎月1回第3土曜日を定例とする）			
8	1・2日	全道集会参加	登別	9名	福祉バス
8	31	第1回 募金箱回収			事務局
9	7	第20回患者家族交流会	豊頃町	2名	成田・山根
9	20	第9回十勝健康祭り	勤医協老健センター	6名	福祉機器展示
10	10	JPC街頭キャンペーン	ふじまる前	10名	110筆
10	10	国会請願署名募金開始			3月末まで
10	3	なんれん十勝27号編集			
10	14	第21回患者家族交流会	池田町	2名	大野
12	6	「障害者の日」記念行事	市福祉センター	6名	バザーと展示
1	16	役員新年会	アルファー	8名	（個人負担）
2	20・21	音更・十勝合同役員研修会	かんぼの宿	10名	本部講師 2名
2	26	なんれん十勝28号編集			1130部
3	20	本部会計指導	難病センター	1名	山崎出席
3	31	募金箱回収（全部）			本部へ送金
3	31	署名用紙回収			本部へ送付
4	10	1999年度総会	総合福祉センタ		役員改選年度

1999年度 十勝支部活動計画

月	日	行 事	会 場	他	参 加	備 考
5	22	第1回支部役員会	支部事務所		全員	第3土曜日定例
6	中旬	花火販売開始～7月末				
6	19	なんれん十勝編集作業	支部事務所		担当者	29号・役員会
6	1～20	全道大会協賛広告	事務局・部会			機関紙で呼び掛け
7	18	「患者会のない患者・家族交流会」		とかちプラザ		
7	31～1	全道大会参加	札幌市		15名以上参加を目標	
8	21	なんれん十勝編集作業	支部事務所			30号・役員会
8	31	第1回募金箱回収				
9	18	第4回支部役員会	支部事務所			
9	25	合同レクリエーション	トマム登山レイクイン			
10	10	JPC街頭キャンペーン	藤丸前 他		目標15名	
11	中旬	正月飾り販売開始～12月上旬				
12	中旬	「障害者の日」記念行事参加	福祉センタ			
2	19	なんれん十勝編集作業				31号・役員会
2	中旬	役員研修会				本部と協議
3	31	第2回募金箱回収				作業を分担
※ この他に、市主催の「リサイクルバザー」などの行事があります。 ※ 定例役員会 毎月第3土曜日 14時～16時 総合福祉センター 又は 支部事務所						



財団法人 北海道難病連

1998年度

支部決算報告書

自：1998年 4月 1日

至：1999年 3月31日

支部名 十勝支部

収入の部

科	目	98年度予算	98年度決算	備	考
支部運営補助金		190,000	227,500	道難病連補助金	
市町村補助金		200,000	200,000		
その他の助成金		0	0		
参加費収入		10,000	0		
寄付金収入		20,000	19,133		
協力会還元金収入		50,000	71,500	道難病連協力会	
募金箱還元金収入		15,000	19,752	道難病連募金箱	
署名募金還元金収入		15,000	9,624	JPC国会請願署名募金	
販売事業収入		50,000	55,763		
その他の事業収入		100,000	41,200		
受取利息収入		100	92		
雑収入		0	36,955		
難病連事業参加助成金収入		20,000	27,200		
支部管理収入		0	43,767		
積立金取崩収入			100,000		
前期繰越金		94,902	94,902		
収入合計		765,002	947,371		

支出の部

科	目	98年度予算	98年度決算	備	考
会議費		80,000	77,910		
支部役員会		60,000	56,510		
本部会議費		20,000	21,400		
その他の会議費		0	0		

科 目	98年度予算	98年度決算	備 考
事業費	466,300	485,905	
地区集會費	0	0	
全道集會	80,000	88,522	
医療講演會	0	0	
検診相談會	0	0	
機関紙・誌費	200,000	186,834	
研修會	50,000	42,011	
レク・交流会費	0	0	
地域部會援助費	100,000	119,913	
相談員補助	0	0	
活動費	30,000	45,363	
負担金・分担金	0	0	
H S K 負担金	6,300	3,262	
維持運営費	218,702	240,892	
事務局費	80,000	32,196	
事務消耗品費	90,000	145,587	
通信費	30,000	54,204	
交通費	10,000	3,000	
資料費	5,000	5,905	
雑費	3,702	0	
仕入高		36,975	
積立金支出			
予備費			
次期繰越金			
支出合計	765,002	841,682	

財団法人 北海道難病連

1999年度

支部会計予算書

自：1999年 4月 1日

至：2000年 3月31日

支部名 十勝支部

収入の部

科 目	98年度決算	99年度予算	備 考
支部運営補助金	227,500	190,000	道難病連補助金
市町村補助金	2,000,000	2,000,000	
その他の助成金	0	0	
参加費収入	0	10,000	
寄付金収入	19,133	20,000	
協力会還元金収入	71,500	50,000	道難病連協力会
募金箱還元金収入	19,752	15,000	道難病連募金箱
署名募金還元金収入	9,634	15,000	JPC国会請願署名募金
販売事業収入	55,763	50,000	
その他の事業収入	41,200	100,000	
受取利息収入	92	100	
雑収入	36,955	0	
難病連事業参加助成金収入	27,200	20,000	
支部管理収入	43,767	0	
積立金取崩収入	100,000		
前期繰越金	194,989	105,689	
収入合計	947,377	775,789	

支出の部

科 目	98年度決算	99年度予算	備 考
会議費	77,910	80,000	
支部役員会	56,510	60,000	
本部会議費	21,400	20,000	
その他の会議費	0	0	

科 目	98年度決算	99年度予算	備 考
事業費	485,905	466,300	
地区集会費	0	0	
全道集会	88,522	80,000	
医療講演会	0	0	
検診相談会	0	0	
機関紙・誌費	186,834	200,000	
研修会	42,011	50,000	
レク・交流会費	0	0	
地域部会援助費	119,913	100,000	
相談員補助	0	0	
活動費	45,363	30,000	
負担金・分担金	0	0	
H S K 負担金	3,262	6,300	
維持運営費	240,892	229,489	
事務局費	32,196	80,000	
事務消耗品費	145,587	90,000	
通信費	54,204	30,000	
交通費	3,000	10,000	
資料費	5,905	5,000	
雑費	0	14,489	
仕入高	36,975		
積立金支出			
予備費			
次期繰越金			
支出合計	841,682	775,789	

1999年度北海道難病連十勝支部役員名簿

NO	役職名	氏名	所属部会	自宅電話	住所
1	支部長	山崎 富士夫	小 鳩 会		
2	事務局長	成田 愛子	あすなろ会		
3	事務局次長	竹内 淑子	心 臓 病		
4	会 計	加藤 健爾	腎 臓 病		
5	会計監査	加藤 富江	二分脊椎症		
6	会計監査	工藤 良三	小 鳩 会		
7	運営委員	山根 静子	パーキンソン病		
8	運営委員	内藤 雅勝	肝 炎		
9	運営委員	大野 ひとみ	膠 原 病		
10	運営委員	田中 弘子	リウマチ		
11	運営委員	加藤 登美子	リウマチ		
12	運営委員	吉澤 一廣	後縦靭帯骨化症		
13	運営委員	沢田 佐登子	橋 本 病		
14	運営委員	中山 貴洋	心 臓 病		
15	運営委員				
16	運営委員				
17	評議委員	加藤 登美子 : 竹内 淑子 (十勝支部役員と兼任・任期2年)			
所在地	難病連十勝支部事務所 〒080-0015 広市西5条南13丁目19-2 TEL: 23-6634 福祉機器事業帯広営業所 〒080-0015 広市西5条南13丁目19-2 TEL: 23-6602 fax: 23-7071 (共通)				

第 2 0 会全道支部協議会報告

支部長 山崎富士夫

第 2 0 回全道支部協議会は、5 月 1 6 日、難病連センターにおいて開催されました。議題は次のとおりです。

1. 支部選出理事及び登記理事の推薦

道南ブロック・道東ブロック・道北ブロック・道東ブロックの 4 ブロックから 1 名ずつ支部選出理事のうち 1 名を登記上の理事とする

2. 医療講演会等支部事業について

① 支部と部会の連携について

② 検診・相談会・地区集会・交流会の開催ほか地域行事の計画について

3. がんばれ難病患者日本一周激励マラソンのリハーサル（5 月・6 月）及び道内ランの支援体勢及び資金活動について

4. 今年度の難病医療福祉相談会の実施について

5. 第 2 6 回全道集会（札幌）について

6. 第 2 7 回全道集会（函館）について

7. 電話・FAX の設置について

8. 「難病患者等居宅生活支援事業」と地方自治体への要望について

9. 「介護保険」をめぐる地方自治体の情勢について

1 0. 難病医療費の自治体助成に関する情勢について

1 1. 今年度の支部研修会開催地ブロックについて

1 2. その他

・全道集会の協賛広告に力を入れてほしい

・税務署から、消費税と源泉徴収のことについて問題視されていること（売上・講師の謝礼も）

以上のことについて、本部からの提案通りに承認されました。道東ブロックの理事は、釧路支部の佐藤さんになりました。

難病連. 定期総会 交流会に出席して

去る6月15日 札幌ユニオンホテルに於て 北海道難病連 定期総会が開催されました。

私は今回 初めて参加し、全道から集まった人々との交流に緊張しながら 夢中の一日でした。

総会は5時迄行われ、その後 同会場において交流会にうつりました。私は、朝早く帯広を出発して、疲れも出てきた頃でしたが、各支部から参加した多くの病気を持った人達とお会い出来る良い機会と思い、出席しました。

交流会は、受付でクジを引いて自分ずいなテーブル席が決まりましたので、初対面の人と自然と交流を持つことが出来ました。

私のテーブルには室蘭、樺太、弟子屈、札幌などの支部から参加された人と一語になり、自己紹介や お互いの病気の事を聞いて理解を深められました。

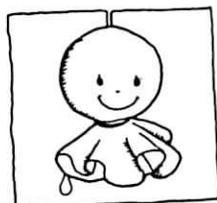
又、交流会の中で、昨年12月 伊藤たてお事務局長が言われた国、フィンランドのスライドが上映されました。

福祉先進国と言われるフィンランド国内の施設や冬の楽しい過ごし方など 伊藤氏の楽しくて明快な説明に聞き入りました。

上映後、今年度最大イベントとなる、マラソンランナー「澤本和雄」さんの登場！ 紹介しました。『がんばれ難病患者 日本一周 激励マラソン』がそれで、7月25日に京谷を出発し、沖縄まで一人で走りぬき、11月29日に札幌に戻る予定です。

そこで私達が出来る応援は、沿道で声援を送ったり、日本一周激励マラソンの関連グッズを販売、購入して支援することです。

このような内容のある交流会に出席して 私自身、得るものがたくさんあったことを実感して戻ることが出来ました。



日本リウマチ友の会 加藤登美子

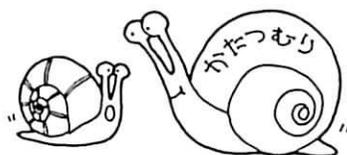
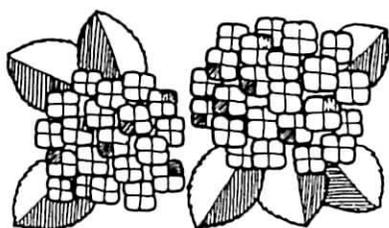
難病連定期総会出席して

始めて評議委員として、リウマチの加藤さんと出席しました。
前年度の活動報告が、長時間だったのには、驚きと疲れを感じました。
周りの評議委員の中には、眠っている人も結構いて

私は、総会ってこんな感じなの？、、、しかし、イエローノート、なんれんでは
知ることのできなかつた難病連の活動の深さを知ることが出来勉強になりました。
夜に行われた交流会では、他支部の方々とお話することができ
視野が広がったように思います。

心臓病部会

竹内 淑子



帯広営業所の縮小及び正職員採用、本部異動につ いて

<結果>特に質問なく承認

介護保険がはじまると機器の事業収入はレンタルが主体となるため大
幅な減収となる見込である。帯広営業所については釧路と同じように共
同作業所とする方向性を模索し、支部事務所の維持を行う。帯広営業所
担当職員を札幌に転勤させ、本部機能の強化を行う。海外の商品の輸入
卸も行う。

お 知 ら せ

1 出席報告

平成10年度 第3回家庭看護普及教室

帯広保健所広尾支所

平成11年3月18日 大樹町生涯学習センターにおいて開催されました。なんれん十勝から、山根静子さんが、講師として依頼され、他の役員と合計4名で参加しました。

山根さんのお話は、自己紹介から始まり、母親がパーキンソン病であったこと、自身も同じ病気になった体験を述べたのに続いて、友の会帯広ブロックを結成した経過を話されました。現在の会の活動状況や日常生活の様子、仲間の方々との交流などについて話をされました。

引き続き交流会がもたれ、支部から参加した成田さん、内藤さん、山根さん（隆）がそれぞれの立場で発言しました。「たんぼの会」の服部さん、保健婦さんのそれぞれから話があり、楽しく有意義な会合でした。

2 全道大会の予告 第26回 難病患者・障害者 と家族の全道集会

このことについては、後日本部から全員に通知がありますが、取り合えず期日と場所をお知らせします。なお申込みは各自が直接、難病連本部へ。

と き 1999年7月31日～
8月1日

ところ 札幌市

(会場は分科会ごとに分かれますので
後日の案内で)

3 十勝支部の行事 第10回 十勝に患者会のない患者・家族交流会を 開催します

と き 1999年7月18日(日)

ところ 帯広市とかちプラザ
13時～15時

※出席の申込みは、同封のはがきで
7月12日(月)までに、十勝支部へ

ご協力有り難うございました。

1 募金箱設置について

1998年度、募金箱設置は次の事業所にお願ひしました。ご協力ありがとうございました

帯広市大通り	エイトプラザ・アルファー	様	1998年度 後期分 (9月～3月) 合計金額 22,200円 本部及び支部の活 動資金に充当させ て頂きます。
池田町	池田ワイン城町営レストラン十勝	様	
帯広市大空町	川西大空マーケット中央店	様	
同	川西大空マーケット1丁目店	様	
幕別町	十勝正直村	様	
帯広市東10条	珈琲かせ	様	
帯広市稲田町	茂古沼酒店	様	
帯広市西8条	ダイイチ西8条店	様	
帯広市西18条	ワインプラザカワイ	様	
帯広市白樺16条	モミの木	様	
帯広市西5条	難病連十勝支部事務所	様	

2 バザー用品・リングプル

難病連十勝支部が、資金造成のためにバザーをしています。バザー用品は、家庭で不要になった衣類や調度品を頂いて販売しています。

この活動に、ご理解とご協力をいただいた多くの方々に厚くお礼を申し上げます。匿名で協力して下さっている方が多いので、個人的にお礼のご挨拶を申し上げられませんが、この紙面でお礼と報告をさせていただきます。有り難うございました。

なお、1998年12月に実施した、バザーの売上総額は、12,520円でした。缶ジュースなどについている、リングプルを沢山集めて送ると、車椅子が貰えます。この活動に難病連十勝支部も参加しています。事務所の方に沢山持参して下さいました。集めている機関に渡して、役立てて頂きます。毎日の積み重ねに敬意を表し、感謝いたします。有り難うございました。

お花見のご案内



◇と き 6月20日 (日) 11:00~14:00

◇ところ 帯広リゾートホテル

音更町字東和西3線71 Ⅱ 42-2220

◇参加費 一人 500円 (小学生以上)

(飲み物、おやつは各自ご持参ください。)

◇日 程 11:00~12:00 入浴 交流
12:00~ 昼食
12:30~13:00 お楽しみタイム
13:00~14:00 入浴 カラオケ
交流

◇申込み 6月12日 (土) まで

*同封のハガキか、電話(31-8723)で申し込んでください。

◇送迎バスがでます (リゾートホテル)

10:20 宝来軽スポーツセンター前
10:30 木野支所前
10:45 総合福祉センター前

*バスご利用の方は申込みのさいに、乗車場所をお知らせください。

◇~~参加必須~~な方・・・ボランティアの方입니다

主催 (財)北海道難病連音更支部

十勝支部でも
共同作業所づくりを検討
十勝支部事務所は福祉機器、介護用品ショップの「ふれあい帯広」と共同事務所となっています。「ふれあい帯広」は九一年に北海道難病連の福祉機器営業所の第一号店として開設されました。担当職員の病状の悪化などの条件が重なりましたが、九七年度から売り上げが伸び、九八年度決算で初めて利益を計上するまでになりました。しかし、二〇〇〇年から介護保険が始まり、主力取扱い品がレンタルとなることから道難病連の福祉機器事業全体の収益が大きく低下することが予想されることから、本部の営業を強化する守り体制をとることとなり、帯広営業所「ふれあい帯広」は縮小し、支部役員を中心とした連絡取次所として維持し、近い将来に共同作業所へと転換させることとなりました。支部ではこの方針について慎重に検討をすすめることとなりました。

報 告

1 J P C 国会請願行動へ参加しました

支部長 山崎 富士夫

「難病公費医療の患者負担を撤廃し、患者を病院から遠ざける医療保険制度改悪に反対する請願」——（青色用紙）の国会請願 ——

4月19日、個人の用事で、たまたま上京していました。北海道難病連の国会請願団と合流して、請願行動に参加して参りました。

難病連に関わりをもってから、相当の年月になりますが、国会請願団に加わって、議員会館を訪れるのは初めてで、とても緊張しました。国会議員の皆さんに、国民ひとりひとりの願いを直接伝える方法のひとつとしての署名を持参して、請願の趣旨をお話してくるのですから、署名に協力して下さった方々の意志がしっかり伝わるように頑張らなくてはという気持ちで、一同、引き締まる雰囲気が漂っていました。

北海道からは6名の参加でしたが、予定外に、私に加わったため7名になりました。私は、本部の伊藤たてお事務局長と同じグループで行動しましたので、請願の趣旨を口頭で伝えるのは、事務局長の役割、私は、専ら議員さんの受け止め方を記録する係をしました北海道選出の衆議院議員と参議院議員の方々の議員会館を廻りました。

今回の請願は、「医療保険制度改悪に反対」という内容なので、「総合的難病対策・・・」の請願と違って、国会議員の先生方も、簡単に「ハイ、わかりました」とは言ってくれませんでした。特に、与党の立場で法案に賛成した立場の方は、「一応、いただいております。」という返事で共通していました。（個々の反応は、ここでは述べません。）

十勝地区の、難病連の活動に賛同して署名に協力して下さった、1800名の署名と総額6万円を上回る募金が生きるように、今後も活動をしなければと言う気持ちが、より強くなった、貴重な体験でした。

2 道東地区支部協議会の報告

支部長 山崎 富士夫

5月29日、釧路市の釧路キャッスル・ホテルにおいて、道東地区支部協議会が開催され十勝地区からは、音更支部の小竹副支部長と、私、山崎が出席しました。

主な協議事項は、①道東地区の役員研修会の持ち方について ②国会請願活動について ③合同レクについて ④その他「がんばれ難病患者・日本一周マラソン」のリハーサルについて。の4項目について協議しました。

①の役員研修会については、以前にしていたように、道東地区もちまわりで開催することになりました。但し、十勝地区では4年に一回を目処に開催する。②の国会請願活動は道東地区で資金の積立てをして、独自にプラス1名参加できる様にする。③の合同レクはそれぞれ、最寄りの支部で協力して開催する。

以上の様な基本事項が確認されました。「今後、お互いに協力して行きましょう」という事です。



がんばれ 難病患者

日本一周激励マラソン



98年登別の全道集會
に到着した日本一周
ランナーの澤本和雄
さん。

- 7月25日(日) 宗谷岬スタート
- 8月1日(日) 全道集會会場
(札幌)からスタート
- 11月26日(金) 東京で大集會
- 11月29日(月) 札幌到着予定



スロークラン

- 全ての難病の原因の究明と治療方法の開発を一日も早く!!
- 全ての難病・長期慢性疾患の医療費を無料に!!
- 難病患者・障害者・高齢者が暮らせる年金の給付を!!
- 公的介護保障制度の確立を!!
- 総合的な難病対策の早期確立を!!
- 医療被害・薬害の根絶と国家賠償(補償)制度の確立を!!
- 全国都道府県に難病センターの建設を!! 東京に全国患者会館の建設を!!

ホームページを開設しました
<http://www.tokeidai.co.jp/h-nanren>

HSKなんれんとかちNO29

編集人 財団法人北海道難病連十勝支部 山崎富士夫 昭和48年1月13日第三種郵便物認可
 「ふれあい帯広」 ☎ 0155-23-6602 FAX 23-7071 1999年6月10日発行HSK 通巻第327号
 帯広市西5条南13丁目19-2 月-金10時~17時

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子